

農業の新しい技術

No. 678(平成27年5月)
分類コード01-04
熊本県農林水産部

促成イチゴ品種「熊本 VS03」の特性

農業研究センター 農産園芸研究所野菜研究室
担当者：坂本 豊房

研究のねらい

本県は、全国でも主要な促成イチゴ生産県であるが、生産者の高齢化や後継者不足の中で労働時間が長く、収益性が不安定なことから生産者および作付面積は減少傾向にある。

このような中、生産現場では、より収益性を安定させるために高単価期である年内の収量向上が求められている。

そこで、早生性を有し、年内の収量が多く、総収量及び果実品質に優れる県オリジナル品種を育成する。

研究の成果

「熊本VS03」は、着色が優れ、良食味を示す育成系統「07-13-1」（種子親）と極早生性で多収を示す「かおり野」（三重県育成）（花粉親）を交配して得られた系統の中から選抜された品種であり、以下の特性を有する。

1. 草姿は立性で、草勢は強く、花房伸長に優れるためジベレリン処理を必要とせず、玉だし作業が容易である(表1)。
2. 頂花房の花芽分化は9月9日～12日に分化し、「さがほのか」と同程度で「ひのしずく」に比べ早く、早生性がある(表2)。
3. 頂花房の花数は、14花程度で多く、頂花房と第一次腋花房間の葉数は「さがほのか」と同程度に少なく、連続出蕾性に優れる(表3)。
4. 年内の収量が特に多く、収量性に優れる(図1、図2)。
5. 果実は円錐形で揃いが良く、果皮色は鮮紅色で、果実肥大性に優れる(表4、写真1)。
6. 糖度は「ひのしずく」と比べやや低く「さがほのか」と同程度で、酸度は「さがほのか」に比べやや高いが糖酸のバランスが良く、良食味である(表4)。

普及上の留意点

1. 安定した収量を確保するためには、栽培期間を通して適正な草勢を維持することが重要であり、電照処理を基本とする。
2. 株の徒長や強草勢により着色不良果が発生することがあるので、過度の電照処理及び極端な高温管理を避ける。

[具体的データ]

表1 形態的特性

品種	草姿	草勢	果梗長(cm)
熊本VS03	立性	強	34.8
さがほのか	半立性	やや強	15.4
ひのしずく	立性	強	28.8

注) 果梗長はジベレリン処理をしない頂花房を測定

表2 頂花房の花芽分化期

品種	平成24年	平成25年	平成26年
熊本VS03	9月12日	9月9日	9月9日
さがほのか	9月12日	9月9日	9月12日
ひのしずく	9月25日	9月24日	9月22日

注) 農産園芸研究所

表3 頂花房の開花特性と第一次腋花房の出蕾日および花房間葉数 (平均値)

品種	定植日	頂花房			第一次腋花房出蕾日	花房間葉数(枚)	
		出蕾日	開花日	花数(花/株)		頂花～1次	1次～2次
熊本VS03	9月17日	10月11日	10月22日	14.1	11月13日	3.3	3.2
さがほのか	9月17日	10月15日	10月26日	10.6	11月15日	3.5	3.5
ひのしずく	9月25日	10月25日	11月8日	8.8	12月15日	6.0	4.3

注) 農産園芸研究所 H25年

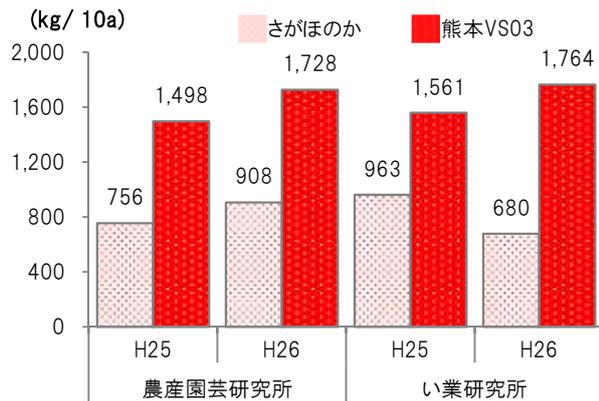


図1 年内収量(可販果収量)

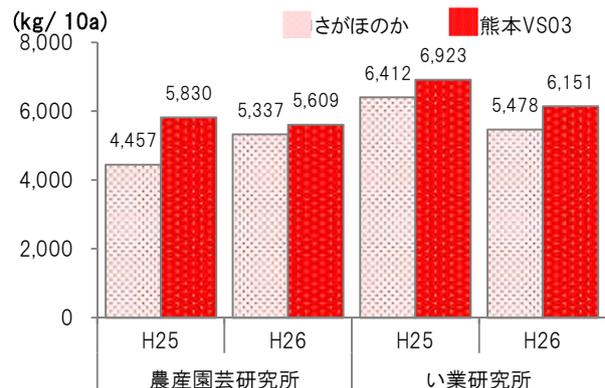


図2 総収量(可販果収量)

注) 調査期間

H25年産: 収穫開始期～H26年5月15日

H26年産: 収穫開始期～H27年5月8日

表4 果実特性

品種	形状	果皮色	果肉色	光沢	可販果		
					平均果重(g)	糖度(Brix)	酸度(%)
熊本VS03	円錐	鮮紅	淡赤	良	17.6	12.0	0.74
さがほのか	円錐	橙赤	淡桃	良	15.3	11.9	0.62
ひのしずく	短～円錐	鮮紅	白	極良	17.9	12.7	0.65

※農産園芸研究所H25年産(糖度は11月～5月、酸度は1月～3月の平均値)

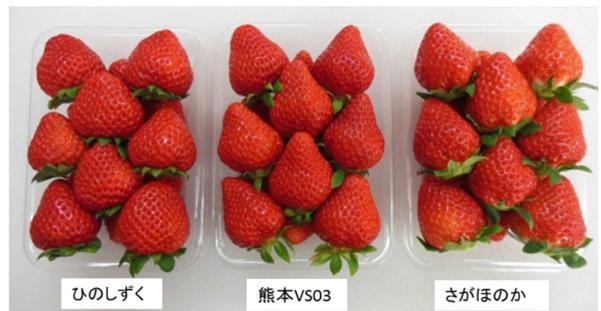


写真1 「熊本VS03」の果実外観